

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 11

2009年1月20日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。  
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 産学交流会「日系企業の中国市場開拓へのポイント」のご案内
2. 「静岡県立大学の“産・学・民・官”連携を考える集い」のご案内
3. JST：平成21年度「シーズ発掘試験」募集説明会を開催します
4. 「CFRPリサイクル技術説明会及び技術相談会（非公開型）」を開催します
5. 第12回MEMS講習会「MEMSの設計・加工技術と応用例」のご案内
6. 東海iNET「JST特許出願支援制度説明会」を開催します
7. 「第13回おた工業フェア」に参加します

---

1. 産学交流会「日系企業の中国市場開拓へのポイント」のご案内  
～食品を中心としたビジネスチャンスと成功・失敗事例から学ぶその留意点～

日時 2009年1月21日（水）18：30～20：15  
【懇親会】20：15～20：45

会場 B-nest 静岡市産学交流センター6階 プレゼンテーションルーム

主催 静岡市産学交流センター

内容 ○「中国市場を活用した産業の活性化」  
静岡大学地域連携協働センター地域連携コーディネーター（特任教授）、  
静岡大学名誉教授、明治大学特別招聘教授 土居 英二  
○「中国社会の食の安全への関心の高まりと日本企業のビジネスチャンス」  
静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科教授 馬 成三氏  
○「中国を市場として見たビジネスの成功事例・失敗事例」  
社団法人静岡県国際経済振興会 櫻井 渉氏

対象 中国ビジネスに関心がある経営者やフードビジネス関連業者、貿易、  
商社及び金融機関の方々

定員 先着30名

参加費 無料（産学交流会・懇親会とも）

詳細/申込 <http://www.hanjyou.jp/~b-nest/doc/sangaku/kouza/doc/sangaku0802.pdf>

問合せ先 B-nest静岡市産学交流センター 担当 清原、尾崎  
TEL 054-275-1655

---

2. 「静岡県立大学の“産・学・民・官”連携を考える集い」のご案内

日時 2009年1月22日（木）14：00～18：00  
【交流会】18：00～20：00

会場 静岡県立大学大講堂ほか

内容 1. 研究室公開  
2. 産学連携セミナー  
○講演 静岡農政事務所 所長 高橋伸悦  
帯広畜産大学 副学長 伊藤 繁  
静岡県立大学 経営情報学部教授 岩崎 邦彦  
3. 地域結集型研究開発プログラム発表会キックオフセミナー  
○プログラム紹介  
企業化統括 原 征彦（前三井農林株最高技術顧問）  
研究代表者 中山 勉（静岡県立大学食品栄養科学部長）

参加費 無料（交流会 会費2000円）

詳細/申込 <http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/outline/collaboration/007/index.html>  
問合先 静岡県立大学事務局産学連携室 担当 伊藤、牧野  
TEL 054-264-5124

---

3. JST：平成21年度「シーズ発掘試験」募集説明会を開催します

日時 2009年1月22日（木）16：00～17：30  
2009年1月23日（金）16：00～17：30  
会場 1/22 静岡大学静岡キャンパス共通教育A棟203教室  
1/23 静岡大学浜松キャンパスシステム工学科3階317号室  
内容（予定） 1. JST各種公募事業概要の紹介  
2. 平成21年度「シーズ発掘試験」公募要領の説明  
3. 質疑応答

参加費 無料

詳細/申込 <http://shizuoka-jst-satellite.jp>  
問合先 JSTイノベーションサテライト静岡 担当 鈴木  
TEL 053-412-2511

---

4. 「CFRPリサイクル技術説明会及び技術相談会（非公開型）」を開催します

日時 2009年1月29日（木）13：30～  
会場 静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館（静岡県浜松市中区城北3-5-1）  
プログラム 1. 開会挨拶  
2. 技術説明会（無料）  
「超臨界流体技術を用いたリサイクル技術の展望と取組み」  
静岡大学大学院創造科学技術研究部 教授 佐古猛  
「超臨界流体を用いるCFRPのリサイクル技術について」  
静岡大学工学部 物質工学科 助教 岡島いつみ  
3. 技術相談会（有料・要事前予約）

定員 説明会：100名

参加費 説明会：無料 相談会：1企業様等につき21,000円（税込）

申込締切 1月26日（月）

詳細/申込 <http://www.shizuoka.ac.jp/info/20090114.pdf>  
問合先 静岡大学知的財産本部 担当 大西、伊藤、山際  
TEL 053-478-1414

---

5. 第12回MEMS講習会「MEMSの設計・加工技術と応用例」のご案内

日時 2009年2月6日（金）13:00～18:00  
【懇親会】18：00～19：00  
会場 グランドホテル浜松 2F 桃山の間  
主催 財団法人マイクロマシンセンターファンドリーサービス産業委員会  
共催 静岡大学イノベーション共同研究センター ほか  
内容 ○MEMSの集積・融合の進展と新産業創出への期待  
杉山 進（立命館大学ナノマシンシステム技術研究センター長教授）  
○電気等価回路によるMEMS設計法  
橋口 原（静岡大学電子工学研究所教授）  
■MEMSプロセスについて  
■東海地区のMEMS企業の技術紹介  
■MEMSデバイスおよびシミュレーションについて

定員 60名

参加費 一般：5,000円／MEMS協議会メンバー：4,000円（講習会資料費と懇談会費）

詳細/申込 <http://fsic.mmc.or.jp/seminar/koshu-12/koshu-12.html>

問合せ 財団法人マイクロマシンセンターファンドリーサービス産業委員会  
講習会担当 山岡、酒向 TEL 03-5835-1870

---

6. 東海iNET「JST特許出願支援制度説明会」を開催します

日時 2009年2月9日(月) 13:30~16:30  
会場 アクトシティ浜松コンgresセンター5階54会議室  
主催 東海イノベーションネットワーク(東海iNET)  
プログラム  
1. 挨拶 (独)科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト静岡  
2. 紹介「静岡大学の取り組みについて」  
静岡大学知的財産本部副本部長 出崎一石  
3. 説明 ①JSTの外国出願支援制度のしくみ  
②外国出願支援制度の審査基準  
③支援制度の新しい取り組み  
(独)科学技術振興機構 産学連携事業本部  
技術移転促進部 権利化支援課課長 菊地博道氏  
権利化支援課課長代理 松永光正氏  
4. 意見交換会  
定員 35名  
参加費 無料  
申込締切 2月5日(木)  
詳細/申込 <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>  
問合せ 静岡大学 知的財産本部 担当 鈴木  
TEL 053-478-1710

---

7. 「第13回おおた工業フェア」に参加します

日時 2009年2月19日(木)~21日(土) 10:00~17:00  
会場 大田区産業プラザ(東京都大田区南蒲田一丁目20番20号)  
静大の展示内容  
「X線等を用いた表面改質鋼の表面強度特性評価技術」  
静岡大学工学部機械工学科 教授 坂井田喜久  
「カーボンナノファイバー充填エストラマーを用いたひずみセンサ」  
静岡大学工学部機械工学科 准教授 島村佳伸  
入場料 無料  
詳細/申込 <http://www.pio.or.jp/event/k-fair/>  
問合せ (財)大田区産業振興協会「第13回おおた工業フェア」事務局  
TEL 03-3733-6477

---

《 みんなのコラム 》

静岡大学知的財産本部は、略称をSHIPとして、そのロゴマークはオレンジ色の帆船が三角波頭を滑走している。「エンジンの無いこの船は風まかせだネ」などと悪い冗談を言っているのだが、、、このロゴを初めて見た時、以前に目にした「パリ市章」を思い出した。海に面していないパリの市章が帆船というのも奇異にとれるが、セーヌ河水運によるパリ商人の活躍が街を支えた歴史を反映させているらしい。

紀元前から、数奇な変遷を重ねたパリであるが、絶えること無い歴史の中に、数え切れない文化遺産の数々を抱え、街としての深い魅力も維持している。世界都市ランキングでも、東京の様な数ある経済都市や歴史都市を凌駕し、トップで世界の憧れの都市とされ続けている。因みに「パリ市章」には「たゆたえども沈まず」と記されている。

静岡大学産学連携も、多くの特長を抱えることで、周囲から憧れ、頼られる存在であり続けたいものである。変化の波に、たゆたえども沈まずに。  
(記：藤田武男)

《 編集後記 》

静岡大学イノベーション共同研究センターでは、新年を迎えるにあたり、皆さまに静岡大学との産学連携を判り易くより身近かに知っていただけるよう案内パンフレットとホームページを全面刷新しました。

パンフレットの表紙絵に登場するフクロウとカタツムリは、静大創立50周年を記念したモニュメントに由来します。静岡と浜松両キャンパスのモニュメントは、一塊の御影石から造られており、両キャンパスが一体となって平和を希求する教育と研究を行い、人類の幸福と自然との共生に貢献する学術の府として、将来への道標を築き、キャンパスに集う全ての学生、教職員の絆となることを願って造られました。

平成21年は大変厳しい情勢からのスタートとなりますが、IJRCスタッフ一同全力で皆さまのサポートをしていきますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

\* - \*

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、[sangakukoho5@ccjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@ccjr.shizuoka.ac.jp) まで  
お願いします。(↑送付の際は〇欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター  
編集：原典子  
編集責任者：木村雅和  
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1  
TEL053-478-1414

\* - \*  
by Copyright(c)2008-2009 Innovation and Joint Research Center,  
Shizuoka University. All rights reserved